



2011年
福島の
もう一つの
大災害は
美しい物語を
生んだ。



霧 幻 鉄道

ドキュメンタリー映画
MUGEN

只見線を300日撮る男

監督／撮影 安孫子 亘

郷土写真家／星賢孝

ナレーション／山本 東

音楽／山形由美

秦野 萌(作曲／ピアノ)

音楽プロデューサー／DAIJI

写真協力／花井 亨

プロデューサー／ナオミ

製作協力／映画只見線製作委員会

企画・製作／ミルフィルム

舞台挨拶・
サイン会決定!!

日時：11月4日(土) 15:00～

場所：八ヶ岳やまびこホール（高根ふれあい交流ホール）北杜市高根町村山北割 3315

主催：一般社団法人オフィス kiyoharu

詳しくは裏面をご覧ください

住民の熱意と一人の写真家が織りなす 美しい福島3.11に隠れた新潟・福島豪雨水害の姿

むげんてつどう
霧幻鉄道

復活 只見線

途切れた線路
つながる事がゴールではない
苦境のローカル線を生かすには

2011年新潟・福島豪雨で
複数の鉄橋が流され
廃線に追い込まれながら、
住民の熱い要望が叶い
存続が決定した。
その中心に一人の写真家が
いた。年間300日只見線を
撮り続け、50年ぶりに渡し船
を復活させた。すべて
「この奥会津を生かす
ためには只見線と霧幻峡
が必要なんだ！」
SNSで世界に発信し
たちまちトップクラスの
観光地となり脚光を浴びた。
2022年の全線開通を前に
新型コロナウイルスが
やってきたが、「俺は自分が
出来ることをやって、
その時を待つ」と
郷土写真家星賢孝は
今日もシャッターを切り続けた。

こんな美しいドキュメンタリーは 観た事がない



監督/撮影：安孫子亘 ナレーション：山本 東 音楽：山形由美 ピアノ/作曲：秦野 萌 音楽プロデューサー/作曲編曲：DAIJI
翻訳：シング麻美/安部里美 デザイン：デザインクリップ/大竹恵子 制作デスク：塩谷奈津紀 録音スタジオ：Studio Varbary
編集スタジオ：会津ジゴ坂学舎 制作協力：コンサートイマジン 製作協力：映画只見線製作委員会
プロデューサー：ナオミ 企画製作：ミルフィルム 2021/日本/HD/16:9/80分/ドキュメンタリー

特別協賛/株式会社シゲキ 協力/東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社 後援協力/福島県・福島県会津若松市・福島県会津坂下町・福島県会津美里町・
福島県柳津町・福島県三島町・福島県金山町・福島県只見町・新潟県魚沼市・福島県昭和村・福島県下郷町・福島民報社・福島民友新聞社・テレビユー福島・福島テレビ

ドキュメンタリー映画「霧幻鉄道」製作委員会事務局
【お問合せ】 E-mail: mirufilm@am.wakwak.com 公式サイト: <https://www.mirufilm.com/>
TEL: 090-3098-7077 FaceBook: <https://www.facebook.com/movie.tadami.line>

舞台挨拶・サイン会決定!! 上映会当日は、郷土写真家の星賢孝氏、監督を務めた安孫子亘氏の舞台挨拶とサイン会もごぞいます。この機会にぜひ会場へお越しください。

日時：11月4日(土) 15:00～
会場：八ヶ岳やまびこホール
(高根ふれあい交流ホール)
北杜市高根町村山北割 3315

料金：1,000円(税込み)
定員：200名 *定員になり次第締め切り
申込：QRコードからお申し込みください。
問い合わせ：office.kiyoharu@gmail.com

